

薬剤師確保計画（素案）の概要

1. 全体像

- ・国の「薬剤師確保計画ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）で示される考え方等を参考に、島根県の地理的条件や薬剤師の地域偏在等を踏まえ、地域の実情に応じた実効性あるものとして策定

2. 計画の期間

- ・令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間（3年ごとに中間見直し）
- ・令和18(2036)年までに薬剤師の偏在是正を達成することを長期的な目標とするとともに、地域で必要な薬剤師の確保を図る。

3. 現状と課題

（1）病院

- ・充足率（令和4年）：87.9%
- ・充足率及び薬剤師数ともに年々上昇してきたが、依然として十分な薬剤師が確保されていない状況が続いており、また、中山間地域・離島の病院での充足率が低く、地域偏在が見られる。

（2）薬局

- ・充足率（令和4年）：86.1%
- ・充足率はほぼ横ばいであり、依然として十分な薬剤師が確保されていない状況が続いている。

※充足率（%）＝（薬剤師数）／（必要薬剤師数）×100 で算出
県調査（病院は毎年度、薬局は隔年度）

4. 方針

（1）指標とする数値

- ・国が算出した薬剤師偏在指標を基本としつつ、県の実情に応じた数値として「充足率」を指標に設定

（2）区域の設定

- ・ガイドラインをもとに、「雲南、大田、浜田、益田、隠岐」の各圏域を「薬剤師少数地域」に設定

（3）特に取組を必要とする業態

- ・将来推計（令和18(2036)年）の薬剤師偏在指標は、病院0.80、薬局1.16となっていることから、病院を特に取組を必要とする業態に設定

※薬剤師偏在指標＝（調整薬剤師労働時間）／（薬剤師の推計業務量）

「調整薬剤師労働時」と「薬剤師の業務量」が等しくなる時、薬剤師偏在指標は「1.0」となる。

5. 目標

(1) 病院

- ・令和11年（2029）年までに充足率95%を達成するために必要な薬剤師数を確保

令和4(2022)年			令和11(2029)年				令和18(2036)年
充足率 (%)	薬剤師数 (人)	必要薬剤師数 (人)	目標充足率 (%)	薬剤師数 (人)	目標薬剤師数 (人)	要確保薬剤師数 (人)	目標充足率 (%)
	a	b		c	d(b×0.95)	e(d-c)	
87.9	291.4	331.4	95.0	291.4	314.8	23.4	100.0

- ※ a、b：「薬剤師実態調査」の結果から、県全体を推計
- ※ c：令和4（2022）年の薬剤師数が維持されると仮定
- ※ d（目標薬剤師数）：目標充足率95%を達成するために必要な薬剤師数
- ※ e（要確保薬剤師数）：目標薬剤師数を達成するために、令和4（2022）年の薬剤師数か追加的に確保が必要な薬剤師数の増分

(2) 薬局

- ・令和11年（2029）年までに充足率90%を達成するために必要な薬剤師数を確保

令和4(2022)年			令和11(2029)年				令和18(2036)年
充足率 (%)	薬剤師数 (人)	必要薬剤師数 (人)	目標充足率 (%)	薬剤師数 (人)	目標薬剤師数 (人)	要確保薬剤師数 (人)	目標充足率 (%)
	a	b		c	d(b×0.90)	e(d-c)	
86.1	891.0	1,034.3	90.0	891.0	930.9	39.9	100.0

- ※ a、b：「薬剤師実態調査」の結果から、県全体を推計
- ※ c：令和4（2022）年の薬剤師数が維持されると仮定
- ※ d（目標薬剤師数）：目標充足率90%を達成するために必要な薬剤師数
- ※ e（要確保薬剤師数）：目標薬剤師数を達成するために、令和4（2022）年の薬剤師数か追加的に確保が必要な薬剤師数の増分

6. 施策（今後の取組）

(1) これまでの取組の継続

- ・誘う（薬剤師を目指す者を増やす）
 - ① 小中学生職業体験イベント
 - ② 高校生セミナー（薬学部進学セミナー）
- ・呼び込む（しまねで働く薬剤師を増やす）
 - ① 大学訪問
 - ② 薬剤師奨学金返還助成制度

(2) 新たな取組の検討

- ・病院及び薬局の薬剤師確保、特に中山間地域・離島の病院薬剤師の確保について、次を検討
 - ① 奨学金貸与制度
 - ② 島根県を対象とする地域枠を設置する大学への進学支援
 - ③ 島根県出身学生を対象とした就職セミナーの開催
 - ④ 薬剤師が不足する病院への薬剤師派遣

1 二次医療圏域別の充足率及び薬剤師数の推移

(1) 病院

	年次 (年)	島根県	二次医療圏						
			松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
充足率 (%)	平成30(2018)	81.0	83.3	74.4	87.6	58.5	82.4	69.4	66.7
	令和元(2019)	84.1	90.1	68.1	86.4	68.9	80.2	79.5	63.0
	令和2(2020)	85.3	88.1	77.5	91.4	68.2	72.5	81.3	80.0
	令和3(2021)	87.7	91.3	71.9	92.2	75.0	82.2	79.3	80.0
	令和4(2022)	87.9	87.2	82.1	94.7	72.1	87.1	83.2	66.7
薬剤師数 (人)	平成30(2018)	269.1	89.5	11.8	99.4	11.3	28.1	25.0	4.0
	令和元(2019)	280.3	99.7	12.8	101.6	11.1	28.4	23.3	3.4
	令和2(2020)	282.7	100.3	13.8	105.8	10.7	26.4	21.8	4.0
	令和3(2021)	290.6	105.1	12.8	106.6	12.0	27.2	23.0	4.0
	令和4(2022)	291.4	102.2	13.8	106.6	12.9	27.1	24.8	4.0
必要薬剤師数 (人)	平成30(2018)	332.1	107.5	15.8	113.4	19.3	34.1	36.0	6.0
	令和元(2019)	333.3	110.7	18.8	117.6	16.1	35.4	29.3	5.4
	令和2(2020)	331.3	113.9	17.8	115.8	15.7	36.4	26.8	5.0
	令和3(2021)	331.5	115.1	17.8	115.6	16.0	33.1	29.0	5.0
	令和4(2022)	331.4	117.2	16.8	112.6	17.9	31.1	29.8	6.0

※回答病院数（回答率は、全ての年次で100%）

平成30（2018）：49、令和元（2019）：49、令和2（2020）：47、令和3（2021）：47、
令和4（2022）：46

(2) 薬局

	年次 (年)	島根県	二次医療圏						
			松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
充足率 (%)	平成30(2018)	85.3	85.0	83.4	87.8	89.5	86.3	78.4	86.7
	令和2(2020)	88.1	89.0	90.0	89.0	85.2	85.1	86.8	91.7
	令和4(2022)	86.1	84.3	83.9	87.7	90.6	86.8	85.1	87.1
薬剤師数 (人)	平成30(2018)	685.2	232.3	40.3	194.6	47.0	76.3	81.7	13.0
	令和2(2020)	683.2	224.0	45.9	207.5	46.0	76.8	72.0	11.0
	令和4(2022)	664.3	226.1	36.5	213.0	43.5	68.8	63.0	13.5
必要薬剤師数 (人)	平成30(2018)	803.6	273.4	48.3	221.7	52.5	88.5	104.2	15.0
	令和2(2020)	775.5	252.0	50.9	233.0	54.0	90.6	83.0	12.0
	令和4(2022)	771.1	268.2	43.5	242.8	48.0	79.3	74.0	15.5

※回答薬局数（〔 〕内は対象年度末薬局数）、回答率（%）

平成30（2018）：277 薬局 [333 薬局]、83.2%、令和2（2020）：277 薬局 [334 薬局]、82.9%
令和4（2022）：252 薬局 [338 薬局]、74.6%

2 これまでの取組の実績

(1) 高校生セミナー（薬学部進学セミナー）参加者数

開催年度	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)
総数 (人)	143	91	118	81	64	125	38	59	72

※令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響でWeb開催

(2) 訪問大学数

年度	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)
総数 (校)	8	11	11	12	6	0	1	1	1

※令和元年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小

(3) 薬剤師奨学金返還助成制度による就業者数

年度	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)
病院	0	0	1
薬局	0	0	0
計	0	0	1

3 二次医療圏別の薬剤師偏在指標

区分	現在 将来	全国	島根県	全国 順位	二次医療圏						
					松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
病院	現在	0.80	0.70	34	0.76	0.40	0.94	0.33	0.55	0.52	0.37
	将来	0.82	0.80	23	0.80	0.51	0.99	0.45	0.69	0.66	0.46
薬局	現在	1.08	0.93	30	0.95	0.60	1.12	0.71	0.83	1.08	0.56
	将来	1.22	1.16	21	1.10	0.91	1.25	1.09	1.11	1.52	0.83

薬剤師多数

薬剤師少数

多数でも少数でもない

(参考)

地域別	現在	0.99	0.86	32	0.89	0.54	1.06	0.60	0.75	0.90	0.51
	将来	1.09	1.04	21	1.00	0.78	1.15	0.89	0.98	1.22	0.71

※国算出、現在：令和4（2022）年、将来：令和18（2036）年

※「地域別」は参考（区域設定なし。）